

(案)

令和2年12月 日

帯広市長 米沢 則寿 様

帯広市有林野管理経営審議会
委員長 平田 昌弘

帯広市森林施業計画（第13次市有林施業概要）について（答申）

令和2年7月30日付け帯農振第235号で諮問のありました、帯広市森林施業計画（第13次市有林施業概要）について、森林所有者として適切な経営管理を行い森林の有する多面的機能の発揮に資することが求められている現状を鑑み、意見書を付して答申します。

意 見 書

「所有林の管理方針を明確化し、生物多様性を保全し、土壌および水資源の保全と維持を図り、持続可能な管理・経営に取り組み、森林の有する多面的機能について、物質生産機能に偏ることなく、公益的機能との両立を図る」との帯広市の森づくりに対する考え方を今後も遵守していくべきである。

地球温暖化の影響が懸念され、気候変動による近年の台風通過の増加などの状況に備えるには、長期的な視点で地域ごとの特殊性や森林の状況に応じた施業手法の適切な選択が重要となる。特に、山岳地においては、伐採ガイドラインに則り、持続可能な森林経営と公益的機能の保全の両立を進めるべきと考える。